

## 野間秀樹 研究業績一覧

## 単行本など

## 【著書】(単著・単編) -----

- 1) 『길 朝鮮語への道』  
1988年4月発行. 総243頁. 東京:有明学術出版社
- 2) 『〈朝鮮語への道〉準拠 練習問題集』  
1989年1月発行. 総62頁. 東京:アジア学生文化協会
- 3) 『朝鮮語分類基礎語彙集』  
野間秀樹編 1998年3月27日発行. 東京:東京外国語大学語学教育研究協議会.
- 4) 『暮らしの単語集 韓国語』  
1999年6月18日発行 総416頁. 東京:ナツメ社. ISBN4-8163-2551-4
- 5) 『至福の朝鮮語』, 『新・至福の朝鮮語』  
2000年5月16日発行 総296頁. ISBN4-255-00026-3 C0087  
2007年5月1日初版. 2007年10月10日第2版. 総297頁. 東京:朝日出版社
- 6) 『한국어 어휘와 문법의 상관구조』(韓国語 語彙と文法の相関構造)  
노마 히데키 [野間秀樹] 著. 태학사(ソウル:太学社).  
2002年2月20日発行. 総444頁. ISBN 89-7626-742-7.  
\*大韓民国学術院 2003年優秀学術図書
- 7) 『入門を終えたら 直訳を超える! 絶妙のハングル』  
2007年2月15日発行. 東京:日本放送出版協会. 総192頁. ISBN978-4-14-039452-6.
- 8) 『ハングルの誕生—音(おん)から文字を創る』 2010年5月15日発行. 総369頁. 東京:平凡社.  
ISBN978-4-582-85523-4. \*第22回アジア・太平洋賞大賞受賞. \*日本図書館協会選定図書

## 【編著書】(単編・共著) -----

- 9) 『韓国語教育論講座 第1巻』  
2007年4月25日. 総727頁. 東京:くろしお出版.  
野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-374-9
- 10) 『韓国語教育論講座 第4巻』  
2008年1月25日. 総817頁. 東京:くろしお出版.  
野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-410-4
- \*\* 『韓国語教育論講座 第2巻』  
2011年6月刊行予定. 東京:くろしお出版.  
野間秀樹編著.

## 【編著書】(共著) -----

- 11) 『朝鮮語を学ぼう』  
1987年10月発行. 菅野裕臣他と共著. 総342頁. 東京:三修社. ISBN4-384-01506-2
- 12) 『コスモス朝和辞典』  
1988年11月10日. 菅野裕臣他と共著. 総1053頁. 東京:白水社. ISBN-4-560-00096-4
- 13) 『朝鮮語初級読本』  
朝鮮語学科研究室編 (菅野裕臣他と共編). 1990年3月. 総352頁.  
東京:東京外国語大学語学教育研究協議会

- 14) 『朝鮮語文体範例読本』  
朝鮮語学科研究室編. 1992年3月 (菅野裕臣他と共編). 総379頁.  
東京:東京外国語大学語学教育研究協議会
- 15) 『ハングル学習の手引き』  
ハングル能力検定試験出題基準検討委員会. 油谷幸利・朴宰秀・野間秀樹・曹喜澈・呉文淑・金珍娥共編著.  
2002年10月9日発行. 総164頁. 東京:ハングル能力検定協会発行. ISBN4-938758-90-3.
- 16) 『ぶち韓国語』  
野間秀樹・村田寛・金珍娥著. 2004年7月20日発行. 総283頁. 東京:朝日出版社.  
ISBN4-255-00286-X.
- 17) 『NHK ラジオアンニョンハシムニカハングル講座 応用編』  
(入門編)増田忠幸・(応用編)野間秀樹著. 2004年7月号-9月号, 2005年7月号-9月号.  
東京:日本放送出版協会.
- 18) 『Viva! 中級韓国語』  
野間秀樹・金珍娥著. 2004年10月1日発行. 総323頁. 東京:朝日出版社. ISBN978-4-255-00289-7  
ISBN4-255-00289-4.
- 19) 『Campus Corean はばたけ! 韓国語』  
野間秀樹・村田寛・金珍娥著. 2007年4月1日発行.  
総215頁. 東京:朝日出版社. ISBN978-4-255-55604-8
- 20) 『ニューエクスプレス韓国語』  
野間秀樹・金珍娥著. 2007年11月20日. 総160頁. 東京:白水社. ISBN978-4-560-06782-6
- 21) 『さらさら韓国語』  
野間秀樹・金珍娥・中島仁・須賀井義教著. 2010年6月30日. 総237頁. 東京:同学社.  
ISBN978-4-8102-0268-7

## 論文など

## 【研究論文】 (\*印以外は全て単著) -----

\* 以下, ハングルは一部ローマナイズで表記

- 1) 「〈hageissda〉の研究——現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」  
『朝鮮学報』129 輯 pp.1-73(総 73 頁) 朝鮮学会 1988 年 10 月
- 2) 「〈hargesida〉の研究——再び現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」  
『朝鮮学報』134 輯 pp.1-64(総 64 頁) 朝鮮学会 1990 年 1 月
- 3) 「現代朝鮮語の名詞分類——語彙論・文法論のために」  
『朝鮮学報』135 輯 pp.1-59(総 59 頁) 朝鮮学会 1990 年 4 月
- 4) 「朝鮮語のオノマトペ  
——擬声擬態語の境界画定、音と形式、音と意味について——」  
『学習院大学言語共同研究所紀要』第 13 号(1990) pp.24-47(総 24 頁)  
学習院大学言語共同研究所 1991 年 7 月
- 5) 「朝鮮語のオノマトペ  
——擬声擬態語と派生・単語結合・シンタックス・テキストについて——」  
『学習院大学言語共同研究所紀要』第 14 号(1991) pp.75-88(総 14 頁)  
学習院大学言語共同研究所 1992 年 7 月
- 6) 「現代朝鮮語の対格と動詞の統辞論」  
『言語研究Ⅲ』 pp.77-168(総 92 頁) 東京外国語大学語学研究所 1993 年 3 月
- 7) ‘現代韓国語’yi 接續形 〈-daga〉’ei 對 ha’ie——aspect・taxis・動詞分類——’

- (現代朝鮮語の接続形<-daga>について—aspect・taxis・動詞分類—)  
『朝鮮学報』149 輯 pp.1-62(総 62 頁) 朝鮮学会 1993 年 10 月
- 8) 「現代朝鮮語の語彙分類の方法」  
『言語研究IV』 pp.45-68(総 24 頁) 東京外国語大学 1994 年 3 月
- 9) 'baramjighan hangug'e giojairan? -- 'irbon'ehoaja'yi gieng'u'  
(望ましき朝鮮語教材とは? —日本語話者の場合)  
『語学研究所論集』第 1 号 pp.51-81(総 31 頁). 東京外国語大学語学研究所 1996 年 3 月
- 10) 'hangug'e munjang'yi gieicynggujo' (朝鮮語の文の階層構造)  
“en'ehag”(言語学) pp.133-180 (総 48 頁) ソウル:韓国言語学会. 1996 年 12 月
- 11) 'hiendai hangug'e'yi dai'ubeb ceigiei'(現代朝鮮語の待遇法体系)  
"mar" 第 21 輯 pp.15-54 (総 40 頁)  
ソウル:延世大学校延世語学院韓国語学堂 1996 年 12 月
- 12) '1980niendai 'ihu 'irbon'eise'yi hiendaihangug'e munbebron, 'ehuiroon 'iengu :  
'en'esasirju'yi'yi jengai'  
(1980 年代以降の日本における現代朝鮮語文法論・語彙論研究 —言語事実主義の展開)  
“韓国文化”18 pp.73-109 (総 37 頁). ソウル:ソウル大学校韓国文化研究所 1996 年 12 月
- 13) 「朝鮮語と日本語の連体修飾節(冠形節)構造」  
『朝鮮文化研究』第 4 号 pp.100-128 (総 29 頁). 東京大学文学部朝鮮文化研究室 1997 年 3 月
- 14) 「朝鮮語の文の構造について」  
『国立国語研究所報告日本語と朝鮮語の対照研究3 日本語と朝鮮語』  
pp.103-138 (総 36 頁) 国立国語研究所(くろしお出版発売) 1997 年 6 月
- 15) 'hangug'e mo'ehwaja'yi 'irbon'e pici'agseinty gio'iug'ur 'wiha'ie'  
(韓国語母語話者の日本語ピッチアクセント教育のために)  
『韓日語文学論叢』梅田博之教授古稀記念論叢刊行委員会編  
pp.651-675 (総 25 頁) 太学社(ソウル) 2001 年 4 月 24 日
- 16) 'irbon'eguen hangug'e giosa'yi gibonjogen' (日本語圏韓国語教師の基本条件)  
<<gug'egio'iug'iengu>> (国語教育研究) jei 9 jib. pp.39-67 (総 29 頁)  
se'urdaihaggio gug'egio'iug'ienguso (ソウル大学校国語教育研究所) 2002 年 3 月 30 日  
ISSN1227-8823
- 17) 'hangug'e dan'egierhabron'yi siahoaryr uiha'ie'(韓国語単語結合論の深化のために)  
<<gug'ehag>> (国語学) jei 39 jib. pp.361-396. 国語學會編. 太学社発行 2002 年 6 月 30 日.
- 18) 'hagnue'e bunbebgio'iug'yi sairoun jengairyr 'uigk'ie' (韓国語文法教育の新たな展開のために)  
<<'oigug'eroselyl hangug'e gio'iug>> (外国語としての韓国語教育) jei 27 jib. (第 27 輯).  
pp.83-101.  
'ienseidaihaggio 'en'e'iengugio'iug'uen hangug'ehagdang (延世大学校言語研究教育院韓国語学堂).  
2002 年 12 月 31 日.
- 19) 'irbon'e mo'ehwaja hagsybjaryr 'uihan hangug'e gico gagsyb'ehui senjeng'goa jeisi bangbeb'  
(日本語母語話者学習者のための韓国語基礎学習語彙選定と提示方法)  
<<hangug'e gio'iuggoa hagsyb sajen>> (韓国語教育と学習辞典) pp.133-157.  
'ienseidaihaggio 'en'e'jengbogaibar'iengu'uen (延世大学校言語情報開発研究院).  
hangugmunhoasa (韓国文化社) 刊. 2001 年 10 月.
- 20) 'irbon daihag daihaguen'yi hangug'e gioiug' (日本の大学の大学院における韓国語教育)  
<<hangug'e gioiug>> jei 14 guen 2 ho. 2003 年 9 月. pp. 83-106. gugjeihangug'egioiughaghoi (国際韓国語教育学会 IAKLE)
- 21) 「朝鮮語母語話者の日本語ピッチアクセント教育のために」. 『韓国語母語話者の日本語音声 研究論文集』  
pp.57-71. 2003 年 3 月 31 日. 東京外国語大学外国語学部鮎澤研究室

- 22) Noma(2005b) When Words Form Sentences; Linguistic Field Theory: From Morphology through Morpho-Syntax to Supra-Morpho-Syntax. "Corpus-Based Approaches to Sentence Structures." Usage-Based Linguistic Informatics 2. Edited by Toshihiro Takagaki, Susumu Zaima, Yoichiro Tsuruga, Francisco Moreno-Fernández and Yuji Kawaguchi. pp.51-75. John Benjamins. 2005年4月.
- 23) 「韓国と日本の韓国語研究—現代韓国語の文法研究を中心に—」『日本語学』2005年7月号. vol.24. no.8. pp.16-31. 東京:明治書院
- 24) \* nakajima (中島仁)と共著. 'irbon'e hangug'e gio'iug' (日本の韓国語教育) "hangug'e gio'iugron1"(韓国語教育論 1). gugjeihangug'egio'iughaghoi 編. pp.195-221. 2005年6月30日. Seoul:hangugmunhoasa(韓国文化社)
- 25) \* nakajima (中島仁)と共著. 'irbon'e hangug'e giojai' (日本の韓国語教材) "hangug'e gio'iugron1"(韓国語教育論 3). gugjeihangug'egio'iughaghoi 編. pp.263-298. 2005年6月30日. Seoul:hangugmunhoasa(韓国文化社)
- 26) 'dan'ega munjang'i doir ddai: 'en'ejang 'iron -- hiengtairon'eise tongsaron'yro, gyriigo cohiengtaitongsaron'yro. (単語が文となる時:言語場理論—形態論から統辞論へ,そして超形態統辞論へ)"Whither Morphology in the New Millennium? 21seigi hiengtairon 'ediro ganynga" (『21世紀形態論, いずこへ』)pp.89-121. eds. Youn-Kun Ko, et al. Seoul: Pagijong Press. 2006年4月25日.
- 27) 'hiendaihangug'e 'iong'en'yi bunsegjeg'in hiengtai'ei daihaie'(現代韓国語の用言の分析的な形について) "Whither Morphology in the New Millennium? 21seigi hiengtairon 'ediro ganynga"(『21世紀形態論, いずこへ』) pp.297-318. eds. Youn-Kun Ko, et al. Seoul: Pagijong Press. 2006年4月25日.
- 29) 「現代朝鮮語の丁寧化のマーカ—yo/iyo について」『朝鮮学報』第199輯・200輯合併号. pp.37-81(総45頁). 2006年7月. 天理:朝鮮学会.
- 30) 「試論:ことばを学ぶ根拠はどこに在るのか—韓国語教育の視座—」『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.1-50(総50頁). 2007年4月25日発行. 東京:くろしお出版
- 31)\* 中島仁と共著. 「日本における韓国語教育の歴史」『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.69-93(総25頁). 2007年4月25日発行. 東京:くろしお出版
- 32) 「音声学からの接近」『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.221-255(総35頁). 2007年4月25日発行. 東京:くろしお出版
- 33) 「音韻論からの接近」『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.257-277(総21頁). 2007年4月25日発行. 東京:くろしお出版
- 34) 「形態音韻論からの接近」『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.279-329(総51頁). 2007年4月25日発行. 東京:くろしお出版
- 35) 「動詞をめぐって」『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.489-520(総32頁). 2007年4月25日発行. 東京:くろしお出版
- 36) 「言語存在論試考序説 I—言語はいかに在るか—」『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.321-353(総33頁). 2008年1月25日発行. 東京:くろしお出版
- 37) 「言語存在論試考序説 II—言語を考えるために—」

- 『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.355-400(総 46 頁). 2008 年 1 月 25 日発行.  
東京:くろしお出版
- 38) 「韓国語学のための文献解題—現代韓国語を見据える—」  
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.515-534(総 20 頁). 2008 年 1 月 25 日発行.  
東京:くろしお出版
- 39) 「音と意味の間に」  
『國文學』2008 年 10 月号. 第 53 卷 14 号. pp.58-69(総 12 頁). 東京:學燈社.
- 40) 「現代朝鮮語研究の新たな視座:〈言語はいかに在るか〉という問いから—言語研究と言語教育のために—」  
第 59 回朝鮮学会大会公開講演. 2007—2009 年度科学研究費補助金基盤研究(C)報告書. pp.1-133(総 133 頁).
- 41) 「朝鮮語の教科書が目指すもの」  
『外国語教育研究』. 第 11 号. 2008 年 11 月 1 日. pp.129-151(総 23 頁). 東京:外国語教育学会
- 42) 노마 히데키 [野間秀樹]:‘언어를 배우는 〈근거〉는 어디에 있는가—한국어 교육의 시점—’(ことばを学ぶ(根拠)どこにあるのか—韓国語教育の視点—)  
“한글”(『ハングル』). 282 호. 2008 년 겨울치. 한글 학회 창립 100 돌 기념 특집. 2008 년 12 월 30 일. pp.235-276(総 42 頁). 서울: 한글 학회 (ソウル: ハングル学会)
- 43) 노마 히데키 [野間秀樹]:‘대우표현과 대우법—몇 가지 시각’(待遇表現と待遇法—いくつかの視角)  
“한국어교육 연구”(『韓国語教育研究』). pp.57-103(総 47 頁). 2009 년 제 4 호. 배재대학교 한국어교육 연구소 (培材大学校韓国語教育研究所)
- 44) 「ハングル—正音エクリチュール革命」  
『國文學』2009 年 2 月号. 第 54 卷 2 号. 2009 年 2 月 10 日. pp.46-55(総 10 頁). 東京:學燈社.
- 45) 「現代朝鮮語研究の新たな視座:言語はいかに在るかという問いから—言語研究と言語教育のために」  
『朝鮮学報』第 212 輯. pp.1-66(総 66 頁). 2009 年 7 月. 天理:朝鮮学会.
- 46) 「引用論小考」  
『朝鮮半島のことばと社会—油谷幸利先生還暦記念論文集』油谷幸利先生還暦記念論文集刊行委員会編. 2009 年 11 月. 明石書店
- \*\* 「文法論の基礎概念 (1)文法基礎論, (2)言語の階層, (3)形態論, (4)文法範疇論, (5)文法論の単位と対象」  
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.7-145(総 139 頁). 2011 年 6 月発行予定.  
東京:くろしお出版
- \*\* 「文をめぐる」  
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.199-234(総 36 頁). 2011 年 6 月発行予定.  
東京:くろしお出版
- \*\* 「文の階層構造」  
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.235-282(総 48 頁). 2011 年 6 月発行予定.  
東京:くろしお出版
- \*\* 「待遇表現と待遇法を考えるために」  
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.521-570(総 50 頁). 2011 年 6 月発行予定.  
東京:くろしお出版
- \*\* 「表現様相論からの接近」  
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.649-668(総 20 頁). 2011 年 6 月発行予定.  
東京:くろしお出版

## その他の著作

## 【その他の著作】 (単著 | 監修) -----

- 1) “irbon'eise'yi hangug'e gio'iug' (日本における朝鮮語教育)  
“margyrsainghoar”(言語生活) 第3号 pp.160-171 (総12頁). ソウル:margyr社 1995年2月
- 2) 「朝鮮語」  
『外国語学がわかる』Aera Mook 14 pp.36-37 (総2頁). 朝日新聞社 1996年6月
- 3) ‘hangug'eryr 'iarmibgei jarhanyn 'oigugsaram'yr gortangmeg'inyn  
bangbeb seser’ (朝鮮語が憎たらしいほどに上手な外国人をぎゃふんと言わせる方法序説)  
“gieigan hangyrsarang”(季刊ハングル愛)第2号 pp.263-267 (総5頁).  
ソウル:hangyrsa 1996年10月
- 4) “irbon'ehoaja'yi hangug'e hagsyb'ei natananyn bar'ymsang'yi jeimunjei -phonemic unit 'oa  
prosody, tyghi pitch 'ei daiha'ie’ (日本語話者の朝鮮語学習に現れる発音上の諸問題)  
“SICOPS '96 : The First Seoul International Conference on Phonetic Sciences”  
(第1回ソウル国際音声学学術大会) 発表要旨集 pp.268-273 (総6頁).  
ソウル:大韓音声学会 1996年10月
- 5) 「日本の大学における朝鮮語教育とコンピュータ」  
『コンピュータ&エデュケーション』. vol.3 1997 コンピュータ教育利用協議会(CIEC)会誌 柏書房  
pp.56-59(総4頁) ISBN4-7601-1564-1
- 6) 「最もオノマトペが豊富な言語」  
『月刊言語』1998年5月号. vol.27, No.5 pp.30-34 (総5頁) 大修館書店 ISSN 0287-1696
- 7) 「朝鮮語(韓国語)の手紙」『郵政』1998年7月号 郵政弘済会 p.13.
- 8) 「朝鮮語」  
『世界の言語ガイドブック 2 アジア・アフリカ地域』. 東京外国語大学語学研究所編.  
1998年3月10日発行 pp.168-184(総17頁). 三省堂. ISBN4-385-35815-X
- 9) (翻訳)宋敏著「日本語系統論について」『韓国語と日本語のあいだ』  
1999年12月15日発行 pp.99-116(18頁). 草風館. ISBN4-88323-113-5 ¥4,800
- 10) 「朝鮮語学ゼミ」  
『東外大ニュース』no.103. 2000年3月24日  
p.13 (総1頁) 東京外国語大学東外大ニュース発行委員会
- 11) (翻訳校閲)『外国人児童生徒のための日本語指導:第5分冊—韓国語(朝鮮語)版 文法説明』  
東京外国語大学留学生日本語教育センター編 翻訳:宋美玲  
2001年3月30日発行 (総124頁)
- 12) 「オノマトペと音象徴」  
『月刊言語』2001年8月号. vol.30, No.9. pp.12-18 (総7頁) 大修館書店 ISSN 0287-1696
- 13) 「湖がパンチャクパンチャク輝いた—朝鮮語のオノマトペ」  
『月刊言語』2001年8月号. vol.30, No.9. pp.54-55 (総2頁) 大修館書店 ISSN 0287-1696
- 14) 「韓国ポップスとことば」  
『月刊しにか』2001年9月号. vol.12, No.9. pp.114-117(総4頁) 大修館書店 ISSN 0915-7247
- 15) (翻訳監修)東京外国語大学留学生日本語教育センター編著  
『実力日本語 単語・文法解説書』(上)韓先熙 訳 (下)金恩愛 訳  
発行:アルク. 発売:凡人社 2001年10月1日発行. (総231頁)  
(上) ISBN4-89358-477-4 (下) ISBN4-89358-488-X
- 16) 「5級 筆記の講評」「5級 聞き取り・書き取りの講評」  
『第18回「ハングル」能力検定試験 <3級・4級・5級> 問題と解答』  
pp.130-151, pp.164-170 (総28頁). ハングル能力検定協会編著, 発行. ISBN4-938758-89-X.

- 17) (野間秀樹監修) 『イージーハングル』 ユン・ソナ著.  
2002年9月18日. 学習研究社発行. ISBN4-05-401810-6.
- 18) (野間秀樹監修) 『韓国語アップグレード もぎたてのソウルマル』 中西恭子著.  
明石書店. 2004年2月. ISBN4750318663
- 19) (野間秀樹監修) 『朝鮮半島の文字「ハングル」と言葉』『世界の文字と言葉入門』シリーズ.  
こどもくらぶ著. 小峰書店. 2004年4月. ISBN 433819703X
- 20) (野間秀樹監修) 『韓国語文法辞典』 白峰子著. 大井秀明訳. 2004年9月10日発行.  
総537頁. 東京:三修社. ISBN4-384-00224-6
- 21) ‘Korean’  
“Encyclopedia of Linguistics” Philipp Strazny (ed.). 2005.2. 2 volumes. vol.1. pp.579-584(総6頁)  
New York: Fitzroy Dearborn. ISBN1-57958-391-1
- 22) (野間秀樹監修) 『NHK テレビ アンニョンハシムニカ ハングル講座』 金珍娥著.  
放送: NHK 教育テレビ 2005年4月-2006年3月. テキスト: 東京: 日本放送出版協会.
- 23) 「まえがき」「大質問館」(連載)  
『NHK テレビ アンニョンハシムニカ ハングル講座』  
2005年4月号-2006年3月号. 東京: 日本放送出版協会.
- 24) 「15位占める大言語, 話し手は7千万人超: 世界で息づく朝鮮語—もはや朝鮮半島だけの言葉ではない」  
『イオ』2006年3月号. p.10. 東京: 朝鮮新報社.
- 25) 『『エスペラント日本語辞典』の快樂』  
『エスペラント La Revuo Orienta』2006年. 東京: 日本エスペラント学会
- 26) 「書物をつくる—ことばを学び=教えるために」  
『月刊言語』2007年10月号. pp.6-7. 東京: 大修館書店
- 27) ‘한글 학회 창립 100 돌 기념 대담’ (리의도 교수와 대담)  
"경향신문", 2008년 8월 30일.
- 28) 「韓国語, 私の原点」  
『韓国語ジャーナル』2009年冬, 27号. 2009年1月19日. pp.16-17. 東京: アルク
- 29) 「ハングルという文字から普遍を問う」  
『月刊百科』. 2010年7月号. pp.4-5. 東京: 平凡社
- 30) 「〈文字〉という奇跡」  
『週刊読書人』. 2011年1月7日号
- 31) 「嬉しい韓国語」  
『月刊百科』. 2011年1月号. vol.579. pp.4-5. 東京: 平凡社
- 32) 「韓国語を楽しく学ぶために」  
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年4月. pp.20-21. 東京: 日本エスペラント学会
- 33) 「韓国語をさらに楽しく学ぶために」  
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年5月. pp.18-19. 東京: 日本エスペラント学会